

第2回 西広島バイパス都心部延伸事業整備効果検討会 検討結果（事業の必要性・効果）



広島市中心部の国道2号では慢性的な交通混雑が発生しており、また、西広島バイパスにおいては、広島市の中心部に向かう高架延伸部分が観音オフランプで中断しているため広島市中心部手前のオフランプ出口を先頭に渋滞している。

また、沿道環境について、高架未整備区間において騒音値は環境基準を超過している。

本事業は、広島市の西部方面から広島市の中心部に流入する交通及び市内から西広島バイパスを利用する交通の円滑な分散・導入を図るために、西広島バイパスの高架部を延伸し、出入口ランプを各箇所設けるものである。

本日の検討会では、本事業によって、高架道路へ交通の転換を図ることにより広島市中心部の国道2号及び西広島バイパス出口付近の交通混雑の緩和が期待されることを確認した。

また、本事業は、大型車等の交通を遮音壁等の環境対策が可能な高架道路へ転換し、国道2号の交通負荷及び沿道環境への負担を軽減させることを確認した。